

令和4年度 子ども会だより

らいちょう

61号



大北地方子ども会育成連絡協議会

目 次

会長あいさつ	1
役員名簿	2
今年度実施・参加した主な事業	3
令和4年度 大北地方子ども会育成フォーラム	
(1)「少年の主張 長野県大会」優良賞受賞文	4
(2) 第24回 子どもフォーラム概要	5
(3) 各市町村の発表.....	7
各市町村の特色ある取組・事業（市町村事業報告）	
大町市	8
池田町	9
松川村	10
白馬村	11
小谷村	12
全国子ども会安全共済会に加入しましょう	13
大北地方子ども会育成連絡協議会規約	14

～表紙の写真～

【令和4年度 第24回大北地方子ども会育成フォーラム】

11月12日(土)に小谷村榎池社会体育館で開催したフォーラムに参加した皆さんの写真です。

発表内容につきましては、4ページ以降に掲載しております。

会長あいさつ

大北地方子ども会育成連絡協議会 会長 田中春輝

私が令和2年に会長に就任し、まもなく3年が過ぎようとしております。大北地方子ども会育成連絡協議会の主な事業は「フォーラムの開催」と「らいちょう」の発行であります。

「フォーラム」は、令和元年までは、毎年大町市で開催して参りましたが令和2年初頭より新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、色々な子ども会活動が中止される中でフォーラムもやむを得ず中止となってしまいました。



令和3年は、各市町村の子ども会の活動を通して地域間交流を行う発表の場として何とか開催できないかと役員間で検討を重ね、大北地方をオンラインで繋いで、各地区子ども会の情報交換や対談を実施しました。

しかし、オンラインでの開催では、一方的な発表だけで終わってしまうとの反省から、令和4年は感染症等の対策を十分に徹底する中で開催することと致しました。

また、今年度から、開催地を持ち回りで行う案が承認され、小谷村を皮切りに各地で行うことになりました。最初の開催にあたり、地元小谷村・小谷村教育委員会・小谷村青少年育成会の皆様の多大なご協力・ご尽力をいただき、無事終了することが出来ました。関係する全ての皆様はこの場をお借りして感謝申し上げます。

「少子化」などによる社会環境の変化、デジタル機器の進歩、また新型コロナウイルス感染症対策等により、子ども会や子ども会活動もまだまだ大変な時期が続きますが「地域の子は地域で育てる」をモットーに今後も活動を続けていきたいと思います。

終わりに一日も早い新型コロナウイルスの収束を願い、また、これまで関係された皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、子どもたちの明るい未来のため引き続き当会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年度 大北地方子ども会育成連絡協議会役員



前列左から

海川顧問(大町市) 相澤副会長(小谷村) 田中会長(池田町) 百瀬副会長(大町市) 倉科監事(松川村)

後列左から 石野監事(白馬村)、松澤顧問(小谷村)

役員名簿

◆大北地方子ども会育成連絡協議会役員

役職名	氏名	出身団体役職名
会長	田中春輝	池田町子ども会育成会連絡協議会会長
副会長	百瀬泰慶	大町市子ども会育成連絡協議会会長
〃	相澤元宏	小谷村青少年育成会会長
監事	倉科次雄	松川村子ども会育成会連絡協議会会長
〃	石野真	白馬村子ども会育成会連絡協議会会長
顧問	松澤義和	元大北地方子ども会育成連絡協議会会長
〃	海川明文	前大北地方子ども会育成連絡協議会会長

◆市町村子ども会育成連絡協議会等役員

市町村	役職名	氏名	市町村	役職名	氏名
大町市	会長	百瀬泰慶	白馬村	会長	石野真
	副会長	茅野浩子		副会長	宮澤弘美
	〃	松澤長		〃	宮田修
	〃	松原亨		事務局	横川秀明
	〃	小浪和正		〃	渡邊宏太
	〃	北沢孝一		〃	小島麻衣子
	事務局	伊藤浩光	小谷村	会長	相澤元宏
池田町	会長	田中春輝		副会長	片山真
	副会長	宮原勝		〃	洞地賢
	事務局	廣田和也		〃	矢口さつき
松川村	会長	倉科次雄		〃	吉田公美
	副会長	草深国芳	事務局	萩原慶一郎	
	〃	平林吉彦			
	〃	嶋田ひみ			
	事務局	羽田幹郎			

今年度実施・参加した主な事業

【令和4年】

- 4月27日(水)…大北地方子ども会育成連絡協議会役員会通知発送(メールにて)
- 5月19日(木)…長野県子ども会育成連合会 第1回理事会(長野上水内教育会館)
- 5月23日(月)…大北地方子ども会育成連絡協議会会計監査(大町市役所)
- 5月23日(月)…大北地方子ども会育成連絡協議会役員総会(大町市役所) 各会長のみ参加
- 5月28日(土)…県子連通常総会・県子連表彰(長野ターミナル会館) 10時~12時
…長野県子ども会育成研究協議会 ⇒ 中止
- 6月2日(木)…大北地方子ども会育成連絡協議会正副会長会①(大町市役所)
- 6月 …安全啓発指導者養成講習会(初級) ⇒ 全国大会のため計画せず
- 6月 …令和4年度 第1回長野県子ども会指導者講習会 ⇒ 全国大会のため計画せず
- 6月18日(土)…長野県子ども会第1回ジュニア・リーダーセミナー ⇒ 中止
- 6月25日(土)…小谷村青少年育成会40周年記念式典(小谷村小谷小学校体育館)
- 7月14日(木)…「長野県将来世代応援県民会議 北アルプス地域会議」「北アルプス地域子ども
応援プラットフォーム」合同会議(大町合同庁舎講堂)
- 7月19日(火)…大北地方子ども会育成連絡協議会第1回役員会(大町市役所)
- 9月2日(金)…長野県子ども会育成連合会 第2回理事会(長野上水内教育会館)
- 9月8日(木)…大北地方子ども会育成連絡協議会第2回役員会(大町市役所)
- 9月10日(土)…長野県子ども会第2回ジュニア・リーダーセミナー ⇒ 中止
- 10月15日(土)…大北PTA連合会研究協議会(美麻小中学校)
- 10月19日(水)…大北地方子ども会育成連絡協議会第3回役員会(大町市役所)
- 10月29日(土)…第55回全国子ども会育成中央会議・研究大会
~31日(月)…第54回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会
大町市子ども会育成連絡協議会ジュニアリーダー研修会活動発表(DVD)
- 11月4日(金)…北アルプス広域連合長宛
令和5年度市町村への負担金及び補助金等の予算要求提出
- 11月7日(月)…大北地方子ども会育成連絡協議会正副会長会②(大町市役所)
- 11月12日(土)…第24回大北地方子ども会育成フォーラム(小谷村柵池社会体育館)
- 11月 …令和4年度 第2回長野県子ども会指導者講習会 ⇒ 全国大会のため計画せず
- 12月 …安全啓発指導者養成講習会(初級) ⇒ 全国大会のため計画せず
- 12月5日(月)…大北地方子ども会育成連絡協議会正副会長会③(大町市役所)
- 12月7日(水)…大北地方子ども会育成連絡協議会第4回役員会(大町市役所)

【令和5年】

- 1月30日(月)…大北地方子ども会育成連絡協議会第5回役員会(大町市役所)
- 2月~ …「らいちょう61号」編集作業
- 3月9日(木)…長野県子ども会育成連合会 第3理事会(長野上水内教育会館)
- 3月17日(金)…大北地方子ども会育成連絡協議会第6回役員会(喜多さん)
- 3月下旬 …機関誌「らいちょう61号」発行

「少年の主張 長野県大会」優良賞受賞作文

少年の主張長野県大会は昭和54年の「国際児童年」を契機に「子どもの主張大会」として始まりました。この大会は「心身ともに大きく成長する時期にある中学生が、日頃の生活を通じて考えていること、実践していることを意見や提言にまとめて発表することにより、青少年の自主性や社会性を涵養する」ことを趣旨として開催され、今年度は大北地方の代表として松川中学校3年 伊藤優明さんが推薦され、令和4年9月9日（金）に行われた審査にて、優良賞をいただきましたので、その作品を紹介いたします。

「男らしさ、女らしさの分類」

松川中学校3年 伊藤 優明

女の子はピンクやぬいぐるみ、男の子は青や車のおもちゃが好き。これは本当にそうなのでしょうか？世の中にはこれらのように女は～、男は～などといったような分類が多いような気がします。

私の兄はピンクを着たりするいわゆるピンク男子です。しかし弟はそれに対して「男なのにピンクはダサい。」と言いました。その言葉に対して違和感を覚えました。男なんだから、女なんだからという言葉が聞かされた時に男は～、女は～という分類は何のためにあって、どういうものなのかを考えます。

まず、男らしさ、女らしさがあることで、自分の好きな色や形の服が着れなかったり、本当は好きなおもちゃを「あなたは女の子（男の子）でしょう？」と言って買ってもらえなくて悲しむ子供もいます。小さいころから自分の好きなものや、考えを否定されてしまうと、大人になっても自分の考えを出すことができなくなるかもしれません。そして、「自分らしさ」というものを失ってしまいます。人間は似ていても、それぞれ心は違います。皆が一緒だと思って分類することは知らないうちに人を傷つけてしまうことにもつながります。

なぜ人間は人を分類してしまうのでしょうか。私は調べていく中、ネットで人は普段面倒なことが嫌いという記事を見ました。だから人間は分類することで考えることを減らしているのではないかと思います。

ですが、すべて分類してしまうのはあまりよくないことだと思います。分類という考えにとらわれて、自分がその考えからはみ出ないように自分の意見を発さずに、互いにすれ違ってしまうことがあります。それはとても悲しいことです。

しかし、分類するというのは昔からの考えです。昔からの考えをなくしていくことはとても難しいと思います。それに、多様な考えの今、昔の人の考えを否定することは少し反しているのではないかと思います。分類というのも1つの考え方だと思います。

そして、女は～、男は～ということにも利点があると思います。体格的な違いによって男は重い荷物を持ち、女は持たなくてもよいことになります。反対に昔は、女が家事をこなし、男はそういったことをしなくてよかったです。分類はそれぞれにあった仕事に分けてくれます。

しかし、利点が利点だと思える人と、そう思えなくて苦しむ人もいます。例えば、先程あげたことのように男の人に荷物を持ってもらい、自分が持てないと思われていると思い悔しかったりという思いをする人もいます。やはり分類は知らないうちに人を苦しめています。

では、分類、もっといえば差別、をなくするにはどのようにすればいいのでしょうか。私が出した答えは、徐々に知ってもらえばいい、です。差別によって苦しんでいる人がいること、差別が人をどのようにするのかを知ってもらうことで、分類という古い考えがなくなって、「自分らしさ」の出せる新しい考えがどんどん広まっていくと思います。

私は昔の人の考えを大切にしつつ、新たな考えを取り入れて苦しむ人がいなくなったらとても良いと思います。昔からの考えの分類をなくすることはすぐにはできないと思います。だからこそ多くの人に知ってもらいたいです。

差別は世の中にたくさんあります。男らしさ、女らしさをなくすためにまず、世の中のことを知ることから始めようと思います。



令和4年度 大北地方子ども会育成フォーラム

「大北地方子ども会育成フォーラム」は、各市町村の子ども会の活動発表を通して、望ましい子ども会活動のあり方を学び合いながら今後の充実を図る催しで、今年で24回目を数えます

新型コロナウイルス感染症のため、一昨年度は中止、昨年度はオンラインでの開催となりましたが、小谷村を会場とし3年ぶりに会場に集まっての開催を行いました。

感染拡大の防止に注意しながらの開催であったため、当初予定していた交流活動の中止や、残念ながら急遽参加できなくなってしまった方もおりましたが、参加された皆様のご協力により無事開催できましたこと、お礼申し上げます。

日 時：令和4年11月12日（土）13：00～15：30

会 場：小谷村柵池社会体育館

次 第

1 開会

(1) 開会の言葉

(2) 主催者あいさつ

2 子どもフォーラム

発表者：各市町村子ども会代表の皆さん

司 会：大北地方子ども会育成連絡協議会 副会長 相澤元宏

発表内容テーマ

大町市子ども会育成連絡協議会……………『3つのCで楽Cリーダー研修会』

池田町子ども会育成会……………『なぜ行ふの？子ども会・育成会の行事』

松川村子ども会育成会……………『夏の思い出作り活動報告』

白馬村子ども会育成会（都合により中止）『八方口子どもまつりと浦安の舞』

小谷村青少年育成会……………『秋の体験祭り』

3 「少年の主張 長野県大会」優良賞受賞作品発表

テーマ「男らしさ、女らしさの分類」

発表者：松川村立松川中学校3年 伊藤 優明さん

4 閉会

大町市の発表 《大町市子ども会育成連絡協議会の皆さん》

『3つのCで楽Cリーダー研修会』

大町市子ども会育成連絡協議会では、単位子ども会の発表に代わって、昨年度に引き続き、主催事業である「ジュニアリーダー研修会」の様子を発表しました。

ジュニアリーダー研修会は、毎年テーマを決めて取り組んでおり、今年のテーマは表題にあるように「3つのCで楽Cリーダー研修会」でした。3つのCとは、Challenge（挑戦）、Care（気配り・思いやり）、Create（創造）です。毎回いくつかの新たな活動に“挑戦”し、仲間と一緒に“気配り・思いやり”を持って活動し、各活動をより良くするために各自が工夫する“創造”を大事にして取り組みました。今回の子どもフォーラムでは、アイスクレーキング、K Y T、カヌー・サップ体験、飯ごう炊さん、テント張り、湖水浴、きもだめし、物づく

り、ボランティア、防災体験、地域の文化財や芸術祭作品見学など今までの活動の様子を27枚のパネルにし、大型スクリーンに写し出された画像を一人ひとりが分担を決めて発表しました。



<ジュニアリーダーの感想>

- 他の人の発表は、ハキハキしていてとてもよかった。少年の主張はすごく自分とっていたことが一緒だったので、共感が持てた。
- 本番、うまく行ってよかったです。あっという間に終わって緊張がなくなりました。他の地区の発表を聞いて、松川の夏祭りが楽しそうでした。小谷村のナイフでスプーンを作るのも楽しそうでした。
- 練習通りの発表ができました。たまに相手の方を見ることができたり、大きな声でゆっくりとできたと思います。
- 初めてだったけど、他の地区の発表を聞いたり、自分たちの発表もできてよかった。他の地区の発表を聞いて、いろんなことをやっているんだと思った。
- ドキドキしたけど、大町人として出来たと思います。他の人の発表も聞いたけど、どれも立派だと思いました。
- リハーサルの際は途中でかんだりつまずいたりして緊張していたけど、息を深く吸って、ゆっくりハッキリと読むとスラスラ読めました。とても緊張しました。
- 前にビデオを撮った時と同じようにやったけれど、本当の会場でやるのとビデオでやるのはまた違う感覚があって新鮮な感じがした。
- いろんな楽しそうな行事が発表されてやりたくなりました。
- すごくはきはきと発表できていてよかったです。来れなかった人たちもいましたが、どういうことをやったのかもわかってよかったです。
- リハーサルで上手にできるか不安でした。でも、本番は上手にできてよかったです。
- 少年の主張は、中3の人が難しい問題を真剣に話していてすごいと思いました。
- それぞれの活動を知ることができてよかったです。小谷や松川の活動を聞いて、他と比べて大町は活動が多くてびっくりしました。



池田町の発表 《池田町正科子ども会育成会 金田 結和さん》

『なぜ行うの？子ども会・育成会の行事』

池田町正科子ども会育成会より、天神様のお札作りや奉納相撲、地域の奉仕活動などを紹介しました。コロナ禍により規模を縮小しながら行事を行う際、活動の理由を皆で確認しながら行いましたが、地区の大人とつながる大切な機会であることも確認できました。



松川村の発表 《松川村子ども会育成会》

『夏の思い出作り活動報告』

松川村は、動画により活動報告をおこないました。

子ども達にボーリングやラジオ体操などの夏に行った活動の発表をしてもらい、皆で夏まつりを楽しんでいる様子などを紹介しました。



白馬村の発表 《白馬村子ども会育成会》

『八方口子どもまつりと浦安の舞』

新型コロナウイルス感染症による学年閉鎖のため、残念ながら当日参加できなくなってしまいました。以下は、当日発表を予定していたものです。

八方口地区では、9月3日に八方口子どもまつりと、子どもみこしの奉納を行いました。

子どもまつりは、コロコロガード、わなげ、射的、お菓子釣りなどを行い、買い出しや会場の準備をしました。地区の人たちがみんな楽しそうに遊んでくれて、他の学年や地区の人たちとも仲が深まって、とてもよかったです。

子どもみこしの奉納は、久しぶりの開催を楽しみにしていましたが、当日は大雨でおみこしを引くことはできませんでした。

9月30日には、八方地区にある細野諏訪大社のお祭りがありました。コロナの影響で御神輿や飲食物の提供はありませんでしたが、浦安の舞の奉納だけはどうしても行いたいという氏子のみなさんの思いがあり、八方と八方口の6年生女子が選ばれて浦安の舞を奉納しました。人前に出るのが少し恥ずかしく心配でしたが、3週間位前からほぼ毎晩練習しました。本番は神社の静かな雰囲気緊張しましたが、音楽が流れると体が自然と動いて、最後まで2人そろって、失敗せず踊りきれました。無事に3年ぶりの浦安の舞ができ、達成感を感じることができました。この経験は私たちの人生においてとても良い思い出になりました。コロナが収束に向かってお祭りができて良かったです。



小谷村の発表 《小谷村青少年育成会の皆さん》

『秋の体験祭り』

小谷村青少年育成協議会では、地域のマイスターによる普段学校ではできない体験の紹介をおこないました。

「ロープを使って木登り」、「草を編む」、「昆虫観察体験」、「ナイフを使ってスプーンづくり」の4つの体験を、動画を交えながら紹介しました。



市町村事業報告

大町市

令和4年度 大町市の各地区子ども会育成協議会の特色ある事業

大町地区	平地区	常盤地区
秋季体験学習事業 	少年少女球技大会 	第40回常盤少年駅伝競走大会 
<p>『秋季体験学習事業』は毎年恒例のラフティング体験（犀川）です。募集定員50名としたところ、募集開始から数日で定員に。計画する側としてもとても喜ばしいことです。</p> <p>昨年は新型コロナウイルス感染症の影響から実施できませんでしたが、今年は感染症対策を万全に行い9月11日に実施。親子合わせて50名の参加があり、大人も子どもも大喜び。参加者に感想を聞くと「とても面白かった。来年もまた参加したい。」と大好評。皆さん楽しみにしているラフティング体験！また来年も是非実施したいですね。</p>	<p>毎年、7月頃小学生の球技大会である「少年少女球技大会」を行っています。ここ2年中止となっていました。今年ようやく3年振りに開催ができました。いままで競技はドッジボールを行っていましたが、少子化で人数が集まらないチームが多くなってきたので今年はスマイルボウリングを行いました。やったことのない人でも簡単にできる競技であり、チーム戦のスマイルボウリングは子どもたちもすごく楽しそうに取り組んでいました。このような子どもが楽しめて、成長につながる行事を継続して行っていきたいです。</p>	<p>昭和58年に始まった常盤少年駅伝競走大会が、今年11月3日の開催で40回の節目を迎えることができました。過去に一度だけ、インフルエンザ拡大防止のため中止となったことがありますが、近年のコロナ禍の中でも開催方法を検討し、中止とすることなく続けることができました。大会が始まった頃、選手として走っていた子どもが親となり、その子どもが今の大会で選手として走っています。少子化や、数年先には小学校の再編も控えていますが、伝統あるこの大会が、この先も50回、60回と続いていくことを願います。</p>
社地区	八坂地区	美麻地区
社地区子ども体験学習会 	郷土ふれあい体験学習 	ラフティング体験 
<p>この子ども体験学習会は、社地区子ども会の役員会で企画したもので、市の子ども体験学習号に乗車し、国営アルプスあづみの公園大町松川地区で体験学習を行いました。</p> <p>食の体験プログラムでは竹巻パンを作り、物づくり体験では森のフレームを作りました。昼食のBBQ後には、大町市文化財センター学芸員の関先生から山の神遺跡の見学の際に解説をしていただき、実際に出土した貴重な土器等も見せていただく事ができました。</p>	<p>八坂に伝わる郷土文化を学び、地域の皆さんとの交流を図ることを目的とした「郷土ふれあい体験学習」を10月1日に開催しました。コロナ感染対策のため、会場を分散し、「竹細工」、「木工細工」、「灰焼きおやき」、「そば打ち」、「わら細工」の5つのブースに分かれて行いました。小学生や保護者など150名程が参加し、子どもたちの笑顔あふれる楽しい郷土文化の体験となりました。</p>	<p>「よし、みんな～、声を合わせて！」 「いち！にい！いち！にい！」 ざぶ～ん「わあ～！」「キャー～」</p> <p>美麻地区子ども会育成協議会は7月27日、大町市八坂の犀川でラフティング体験を開催。美麻小中学生と保護者等30人以上が参加し、夏の自然を満喫しました。</p> <p>一行は、最初は恐る恐るという感じでしたが、ガイドの指揮を頼りに、力を合わせてパドルを漕ぎ、水しぶきを受ければ歓声を上げました。また、ボート同士が衝突したり回転したりするたびに笑顔が弾けました。</p>

池田町

池田町公民館では、新池田学問所と題して、様々な講座を開催しています。

その中で、年間通して行われる講座の一つに「ふるさとチャレンジ塾（通称：ふるチャレ）」があります。

ふるチャレは、町内の小学4年生から中学2年生までを対象とした講座で、活動を通じてリーダー育成や池田小・会染小の交流、地域学習といった学校や家庭だけでは学べない「社会教育」を意識した講座となっています。

12月17日に令和4年度第8回目のふるチャレ「図書館で遊ぼう！」を開催しました。

図書館にある資料や館内の情報をもとに作られたクイズを解き、その点数を競うという企画です。今回は町内で地域交流等の活性化につながる活動をされている大学生団体「つむぐプロジェクト」のメンバーの方々にクイズの問題やゲームルール等を考えていただきました。

当日はグループごとに制限時間内で図書館内を隅々周り、仲間と相談しながらクイズに挑戦していました。図書館の蔵書検索端末はルール上3回までしか使用できないので、どの問題で端末を使うかなど、なかなかの頭脳戦となりました。

普段図書館をあまり利用しない子どもたちの中にはいましたが、クイズを解く中で図書館の利活用方法を学び、「こんな本が図書館にあったんだ」といった声も聞かれました。最後の結果発表では全チーム1問も無駄にできない大接戦で大盛り上がりでした。これをきっかけに日常的に図書館を利用してくれると非常にうれしいです。



松川村

新型コロナウイルスが2019年12月に発生してから4年になりますが引き続き猛威を振るい、昨年度に引き続き計画した事業の実施ができない状況でした。

松川村においても、あらゆるイベントが延期や中止となっていきました。各地区では例年実施している事業について感染防止対策をとり規模を縮小しながら子供達に1つでも多くの思い出作りができるよう苦慮しました。

今回のらいちょう61号の発行にあたりまして、地区で実施したイベントについて紹介させていただきます。
～ボーリング大会～

コロナ発生前、地区子ども会ではふるさと祭りへの参加、お楽しみ会、プランターの花植、魚つかみ大会等々いろいろな行事に参加し楽しく思い出作りをしてきました。

今年度松川村にて実施してくれた「ちょこっと夏祭り」魚つかみ大会に参加して久しぶりに子供達の笑顔を見ることができ嬉しかったです。

地区では、毎年実施している奉仕活動の会館清掃を行った後夏休みのお楽しみ会としてボーリングを実施しました。1年生から6年生までの20名と保護者4名が参加し、1年生+5・6年、学年毎での1チーム4名にて楽しみました。10時～12時の間で2ゲーム行いましたが高学年が低学年へ持ち方、投げ方を優しく教えている姿はとても頼もしく思いました。初めてやる子もいい笑顔で楽しんで、帰りの車の中で「またやりたい」「楽しかった」と話したそうです。感染対策として、全員での食事ができないためボーリング参加賞及び、おにぎり、お菓子を配り現地解散となりました。



まだまだ厳しい状況は続きそうですが1日も早くコロナが終息しいろんな事業に安心して参加し子供達の笑い声があふれる日が来ることを切望します。

白馬村

白馬村子ども会育成会夏の行事

「JR大糸線に乗って糸魚川へ - フォッサマグナミュージアムツアー」

8月4日（木曜日）に、村内の小学校4～6年生21名が参加して、白馬村子ども会育成会連絡協議会の夏の行事「JR大糸線に乗って糸魚川へ - フォッサマグナミュージアムツアー」を開催しました。

JR大糸線で糸魚川駅を訪れ、駅舎内の「ジオパル」で列車模型等を見学した後、フォッサマグナミュージアムの各種展示を観賞し、美しいヒスイや大地の裂け目「フォッサマグナ」など地域の自然について楽しく学びました。

また、帰路につく前には、2016年12月に起きた糸魚川駅北大火のまちなみ再生事業として整備された糸魚川市駅北広場「キターレ」を訪れ、展示されていた資料から当時の様子についても知ることができました。

子どもたちの夏休みの思い出の一コマとして刻まれたことと思います。

※この行事は大糸線全線開通65周年を記念し、大糸線利用促進事業助成金を活用して開催しました。



小谷村

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた事業がなかなか開催できず、予定していた行事が夏休み明けまでできませんでした。

そんな中、10月22日（土）に小谷村の大自然をフィールドとした「秋の体験祭り」を開催することができました。

村内の4名の「マイスター」を講師としてお招きし、「ロープで木登り」・「草を編む」・「昆虫観察探検」・「ナイフでスプーンづくり」の4つの体験をしました。

自然に囲まれた小谷村で暮らしていますが、その自然の中でも普段できないような体験に子ども達は目をキラキラと輝かせていました。

また、12月3日（土）にクリスマス会を開催しました。今回は中学生の実行委員の企画・立案により全て行うことができ、中学生のリーダーシップやイベントを実行するためのチカラが見え、とても頼もしく思えました。参加した小学生児童の皆さんもとても楽しかったようで、思い出に残るクリスマス会となりました。

地域の大人と子どもも一緒になって、コロナ禍でも楽しめるイベントが開催できたことが財産となった一年となりました。次年度も大人も子どもも楽しめる小谷村青少年育成会の活動を作っていきたいと思います。



子ども会の皆さん

全国子ども会 安全共済会

に加入しましょう!

子ども会は、子どもたちに生きる力を育み、
体験を通して感動が生まれ、輝く夢を与える活動を行なっています。

子ども会の活動、取り組み内容

- ☆仲間遊び
- ☆エコ活動
- ☆緑化運動
- ☆スポーツ活動
- ☆慰問・訪問活動
- ☆食育活動
- ☆生活習慣向上運動
- ☆伝承芸能活動
- ☆募金活動

◆子ども会活動を安心して行うために、共済に加入することを忘れずに!

加入時費用には、共済掛金の他に賠償責任保険料が含まれています。活動中に会員本人が負ったケガや病気の他に、誤って第三者にケガを負わせてしまったり、物を壊したりしたときも補償を受けることができます。

定期的に、そして事業開始前から事業実施中にもKYT(危険予知トレーニング)を行い、事前の会場下見等による安全・安心を確保しましょう。

全国子ども会安全共済会に加入するには

- ・契約した市町村(地区)の子ども会連合組織に、単位子ども会ごとまとめて申し込んでください。
- ・単位子ども会、市町村(地区)子連、長野県子連に所属する者が次の加入時費用を納めることが必要です。

☆加入時費用(1人) … 150円(10月1日以降加入の場合…140円)

内訳 全国子ども会安全共済掛金…50円(10月1日以降加入の場合…40円) } 70円
全国子ども会連合会運営費…20円(子ども会賠償責任保険料を含む) } (10月1日以降加入の場合…60円)
長野県子ども会育成連合会運営費…80円
(各種事業、安全教育、共済金請求事務、事前審査、名簿管理等の費用として)

長野県加入者数の状況

○令和4年度 加入者数

区分	乳幼児	小学生	中学生	高校生	指導者・育成者	計
加入者数	5,810	59,130	18,647	639	30,480	115,872

<問い合わせ先>

一般社団法人 長野県子ども会育成連合会
TEL : 026-225-0126 FAX : 026-225-0133

大北地方子ども会育成連絡協議会規約

(名称)

第1条 この会は、大北地方子ども会育成連絡協議会という。

(目的)

第2条 この会は、大北地方の市町村子ども会育成会の連絡提携を図り、もって青少年育成活動の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的達成のため、次の事業を行う。

- 1 市町村子ども会育成会の連絡提携に関すること。
- 2 地区育成会の活動促進に関すること。
- 3 青少年健全育成に関する家庭生活の充実、環境浄化等地域社会の意識の高揚を図ること。
- 4 子ども会活動に対する青少年指導団体の協力参加の促進を図ること。
- 5 その他、この会の目的達成のための必要な事業を行う。

(組織)

第4条 1 この会は、大北地方の市町村子ども会育成会及びこれに準ずる地区育成会（以下「市町村 子ども会育成会等」という）をもって構成する。
2 市町村子ども会育成会等は、その会長をこの会の委員として選出する。

(役員)

第5条 この会に次の役員をおく。

会長 1名 副会長 2名 監事 2名 顧問・参与 若干名

(役員職務)

第6条 1 会長は、会を代表して会務を総括する。
2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
3 役員は、役員会を構成し、議案の審議決定、事業の企画立案及び事業の実施にあたる。
4 監事は、この会の会計及び業務の執行状況を監査しその結果を会議に報告する。
5 顧問・参与は、この会の運営について助言する。

(役員選出)

第7条 1 会長・副会長は、委員の互選による。
2 監事は、役員総会において選任する。
3 顧問・参与は、会長が必要と認めたときは役員総会に諮って委嘱する。

(役員任期)

第8条 役員任期は2年とする。なお、欠員が生じたときは所属団体から補選し、その任期は前任者の残留期間とする。ただし、再選を妨げない。

(会議)

第9条 1 この会議は役員総会・役員会とし、会長が召集する。
2 役員総会は、市町村子ども会育成会等の会長、副会長及び事務局長で構成し、過半数の出席で成立するものとする。また、出席できない場合は会長に議決権を委任できるものとする。

(事務・事業の支援)

第10条 北アルプス地域振興局総務管理課は、この会の事務・事業の支援・補助を行う。

(経費)

第11条 この会に要する費用は、会費・補助金・寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(会計)

第12条 この会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(附則)

- ① この規約は、昭和53年3月1日から施行する。
- ② この規約の一部改正は、昭和55年7月30日から施行する。
- ③ この規約の一部改正は、昭和57年6月13日から施行する。
- ④ この規約の一部改正は、昭和63年6月2日から施行する。
- ⑤ この規約の一部改正は、平成6年5月12日から施行する。
- ⑥ この規約の一部改正は、平成15年5月8日から施行する。
- ⑦ この規約の一部改正は、平成19年5月14日から施行する。
- ⑧ この規約の一部改正は、平成20年6月13日から施行する。
- ⑨ この規約の一部改正は、平成21年5月19日から施行する。
- ⑩ この規約の一部改正は、平成29年8月23日から施行する。

令和4年度 子ども会だより

らいちょう 61号

令和5年3月発行

編集・発行 大北地方子ども会育成連絡協議会
代表者 田中 春輝